

2025年2月1日から2026年1月31日まで

支部名： 東北支部

支部長名： 大江 知行

1 概要

1) 支部の活動方針 2025年度には、1) 支部総会、2) 支部大会、3) 学術講演会、4) 若手研究者セミナー（化学系、生物化学、物理・分析系、医療薬学の4回）、5) 東北薬学セミナーなどの開催を予定している。行事は主に仙台地区で開催する。支部役員会は、オンライン1回、支部大会時および東北薬学セミナー時の3回を予定している。また、45歳未満の会員の優れた研究業績を対象に「支部奨励賞」を授与する。さらに、若手研究者を後押しするため、東北支部大会（未定）において、学部学生を対象に「学部学生優秀発表賞」あるいは「ポスター賞」を、大学院生（社会人大学院生を含む）の若手研究者の優れた発表に対して「若手研究者発表賞」を授与する。
2) 継続的活動 5月に支部総会を開催し、前年度事業および決算の承認、ならびに2025年度事業および予算を決定する。また、総会の後に学術講演会を実施する。支部会員の研究発表ならびに研究交流の場として、10月（9月）に、第64回東北支部大会を開催する。さらに、支部内の若手研究者相互の研究交流の場として有効に機能してきた「若手研究者セミナー」（4領域：化学系、生物化学、物理・分析系、医療薬学）を、引き続き開催する。薬剤師会、病院薬剤師会の主催するセミナーやシンポジウムと連携し共催あるいは後援の事業を推進するとともに、学生あるいは大学院生が進路を模索するうえで参考になるような企画を検討する。いずれの活動も、支部活動で問題となる東北6県の相互移動の困難さを解決する目的で、コロナ禍で培った、リモートを併用した形の開催を検討する。
3) 新たに企画する新規事業 2024年度の支部長・部会長会議で、①支部活動の活性化、②会員数の増強、③薬学会の国際化の推進、④ダイバーシティの推進、⑤博士課程進学者の増強、の対応が支部へ求められた。 （以下、重複するが） 【②会員数の増強】6) に記した様に、薬学会広報ブースを設置して、学会誌（ファルマシア、薬学雑誌、CPB、BPBなど）・ポスター展示、資料配布など可能か、検討する。 【④ダイバーシティの推進】5) に記した様に、東北大学大学院薬学研究科の女性薬学研究者育成チーム（POLISH）のセミナー等の活動を、支部で共催・後援・支部HPによる周知などで、積極的に連携して更なる企画を検討する。 【⑤博士課程進学者の増強】5) に記した様に、POLISH活動による支部女子薬学生へのロールモデルの提示により、博士課程進学を含めた動機付けを企画検討する。 【③の国際化】支部では対応が難しいので、本部で指針を作成して頂ければと考える。
4) 特筆すべき計画 薬剤師会や病院薬剤師会の協力を得ながら、統合的な「卒後薬学教育講習会」等を実施し、薬学会の存在を印象付ける活動を発展させたい。従来、大学毎に実施している卒後研修、高大連携事業、一日薬学体験の情報などについて、支部ホームページ等を使って公開し、組織横断的な実施を支部として、積極的に後援する。コロナ禍をきっかけに、各々の大学の活動がリモートで実施される状況が生まれつつある。この状況（リモート活用）をさらに一歩前に進めることにより、東北6県の間を移動せずとも各々の大学の実施している活動に参加が可能となる。支部として、各組織の活動をホームページで公開するだけでなく、各組織の様々な活動にリモートで組織横断的に参加できるよう各方面に働きかけたい。最後に継続的活動の再掲となるが、特筆すべき事項なので記す。支部大会、各若手研究者セミナーでは大学院生に加えて薬学部6年生にも積極的に発表の場を提供し、薬学の発展に寄与する喜びを体験させるとともに研究マインドを持った薬剤師を育成する。
5) ダイバーシティ（あるいはDE&I）に関する活動 2024年度に引き続き、東北大学大学院薬学研究科の女性薬学研究者育成チーム（POLISH）のセミナー等の活動を、支部で共催・後援・支部HPによる周知などで、積極的に連携して行く。 現在POLISHの活動は、東北大を中心に行われているが、主なセミナーではオンライン・オンデマンドも併用しており、連携によるPOLISHの支部内での周知のみならず、支部女子薬学生へのロールモデルの提示、女性研究者育成の観点（博士課程進学を含めた動機付け）で、win-winの関係と考える。 POLISH HP: http://www.pharm.tohoku.ac.jp/POLISH/
6) 会員数増強に向けての取り組み 2024年度から、支部大会における「学部学生優秀発表賞」の要件として「薬学会会員である事」を支部内規を改定し明記した。その結果、2024年度支部大会前に学生の入会傾向が見られたので、引き続き、各賞や参加条件への会員条件が会員数に結びつくか動向を見る。 また支部大会・各種セミナーに於いて、薬学会広報ブースを設置して、学会誌（ファルマシア、薬学雑誌、CPB、BPBなど）・ポスター展示、資料配布など可能か、検討する。 本部から配布可能な資料、展示可能な広報用ポスターなど提供頂ければと考えている。
2025年度支部長就任予定者（氏名、所属、所属所在地、Tel、E-mail） 氏名：押尾 茂 所属：奥羽大学薬学部 所属所在地：〒963-8611福島県郡山市富田町字三角堂31-1

2 支部活動の具体的計画

1 支部総会等の開催				
名称	日時	場所	参加者数	特記事項
2025年度支部総会 第64回支部大会 第47回東北薬学セミナー	未定 (5月) 未定 (9・10月) 未定 (12月)	仙台 仙台 仙台	約50名 約200名 約100名	学術講演 一般講演・特別講演 支部奨励賞受賞講演・特別講演
2 事業 (オープンキャンパスは支部事業として認められませんので記載の必要はございません。)				
名称	日時	場所	参加者数	特記事項
学術講演会 若手研究者セミナー 化学系 物理・分析系 生物化学 医療薬学 東北薬学セミナー 東北病院薬剤師会 東北ブロック学術大会 東北医科薬科大学 生涯教育講演会 宮城県病院薬剤師会 学術研究発表会 女性薬学研究者育成チ ーム (POLISH)のセミナー	未定 (5月) 未定 未定 未定 未定 未定 (12月) 未定 未定 未定 未定	仙台 未定 未定 未定 未定 未定 未定 未定 未定	約100名 約50名 約50名 約50名 約50名 約70名 約50名 約100名 約50名 約50名	主催 主催 主催 主催 主催 主催 後援 後援 後援
3 奨励表彰(名称)		受賞件数	対象研究	副賞
東北支部奨励賞 東北支部大会若手研究者発表賞 東北支部大会学部学生優秀発表賞 (ポスター賞)		募集予定 募集予定 募集予定	45歳未満対象 学部学生・大学院生 (社会人大学院生を含む) 学部学生・大学院生 (社会人大学院生を含む) および35歳以下研究者	賞状、楯、賞金2万円 賞状、記念品2千円相当 賞状
4 会議等の開催				
名称	日時	場所	特記事項	
第1回支部役員会 第2回支部役員会 第3回支部役員会	未定 (4・5月) 未定 (9・10月) 未定 (12月)	オンライン 未定 仙台ガーデンパレス	支部大会時 東北薬学セミナー時	

